

プリセットバルブ (PS)

取扱説明書

△ 重要

- ◆ 取扱説明書をよく読み、理解してから操作してください。
- ◆ 本取扱説明書に従わない、不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性があります。
- ◆ 本取扱説明書は常に製品の側に置いて、いつでも読めるようにしてください。

安全の表示についての案内

ほとんどの事故は、基本的な安全規則を守らない操作・保守点検・整備が原因で発生しております。

本書および当製品の安全性をより良く理解いただくため、安全の表示を次のように使い分けてあります。

- ⚠ **危険**：回避できなかった場合、死亡または重傷を負うことにある切迫した危険状態となる場合の注意事項に用いております。
- ⚠ **警告**：回避できなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険状態の場合の注意事項に用いております。
- ⚠ **注意**：回避できなかった場合、軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状態の場合、または、物的傷害の発生が予測されるような種類の危険状態になる場合の注意事項に用いております。
- ⚠ **重要**：当然守るべき法的規制等の製品取り扱いのもっとも基本的な遵守事項に用いております。

- はじめに
このたびは、プリセットバルブをお買い求めいただきまして、厚くお礼申し上げます。
本取扱説明書は、プリセットバルブを安全に、また効果的にご使用いただくための説明書です。
当製品をご使用いただく前に必ず本書を読み、操作方法や保守点検を十分に理解された上で、ご使用くださいますようお願い致します。

2. 製品の概要

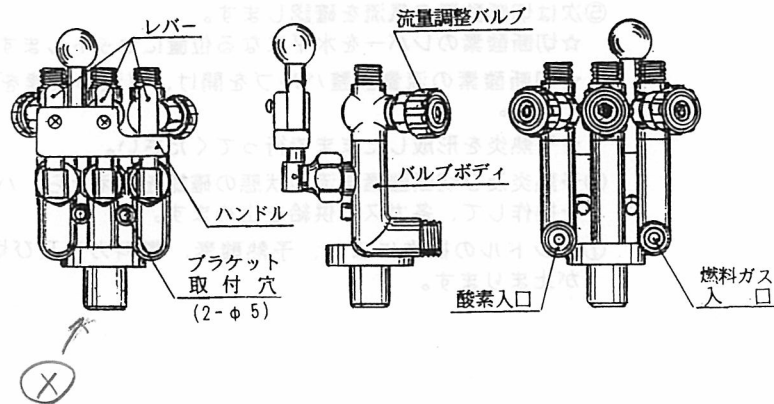
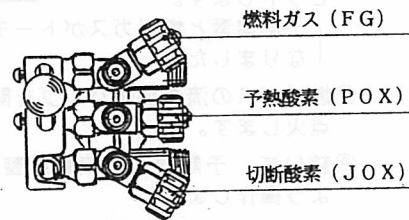
ポータブル切断機を使って切断作業を行う場合、切断するたびに、予熱炎や切断酸素気流の調整をバルブを操作して行っています。

本プリセットバルブは、予熱酸素、燃料ガス及び切断酸素の流量をあらかじめ設定しておき、切断作業時はハンドル操作を行うだけで通常の切断が行えます。

本プリセットバルブは、切断の都度行うバルブ調整が解消され、常に一定した流量が得られますので、安定した作業と作業効率の向上が図れます。

3. 製品の構成及び名称

流量調整バルブ		
流体	ねじ	色
J O X	M12×1 (右)	黒
P O X	M12×1 (右)	青
F G	M12×1 (左)	赤



ガス・溶接・切断のトータルシステムサプライヤー

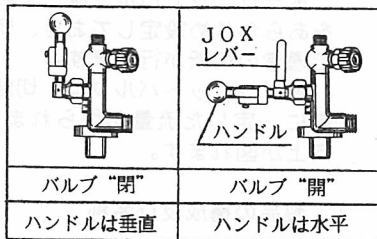
小池酸素工業株式会社

営業本部：千葉県市川市新田2-3-1 〒272-0035 ☎047-379-4611(代)

4. 取り扱い手順

- 1) ポータブル切断機の所定の位置（スタンドφ16穴）に図示の×部を取り付けます。
- 2) 各ガスのレバー（ハンドル）は、図に示してある通り、ハンドルのボールが上方になるようにセットしておく。
- 3) 流量調整バルブも閉止（ハンドルを右に廻す）の状態にしておく。
- 4) 酸素及び燃料ガスの入口に夫々のホースを接続します。
- 5) 流量調整バルブの出口とトーチとをホースで接続します。
- 6) 上記の4)及び5)は、ガス漏れのないようにスパナを使って、確実に締め付けてください。

- 7) 火口に点火して、予熱炎と切断酸素の気流を確認します。



- ①ハンドルを90°回転させ、ハンドルのボールが水平になる位置にセットします。

〔予熱酸素と燃料ガスがトーチに流れる状態になりました。〕

- ②燃料ガスの流量調整バルブを開けて、点火ライターを使って点火します。
- ③続いて、予熱酸素の流量調整バルブを開け、標準炎になるよう操作します。
- ④炎の大きさなどの調整は②と③を繰り返して行ってください。
- ⑤次は切断酸素の気流を確認します。
☆切断酸素のレバーを水平になる位置にセットします。
☆切断酸素の流量調整バルブを開け、気流の状態を確認します。
☆予熱炎を形成したままで行ってください。
- ⑥予熱炎及び切断酸素気流の状態の確認を終えたら、ハンドルを操作して、各ガスの供給を止めます。
- ⑦ハンドルの操作により、予熱酸素、燃料ガス及び切断酸素が止まります。

- 8) 再点火の操作

通常の作業で繰り返し行う操作のことです。
①ハンドルを操作して火口にガスを供給します。
②点火ライターで点火します。
③切断酸素気流は、レバーを操作して確認します。
(切断酸素のレバーは単独で操作ができます)

- 9) 火口を交換した時の点火

作業条件が変わり、別な火口に変えた場合は、その火口に見合ったガスの供給と調整が必要です。
一連の操作及び確認は、7)及び8)と同じです。

- 10) 作業終了時の扱い

作業終了時、または長期間使用しない場合は、各バルブのレバー及びハンドルは必ず閉止の状態にしておいてください。

5. 日常点検

⚠ 警告 安全及び性能維持のため、保守点検は必ず行ってください。保守点検を怠りますと、重大な事故が起こることがあります。

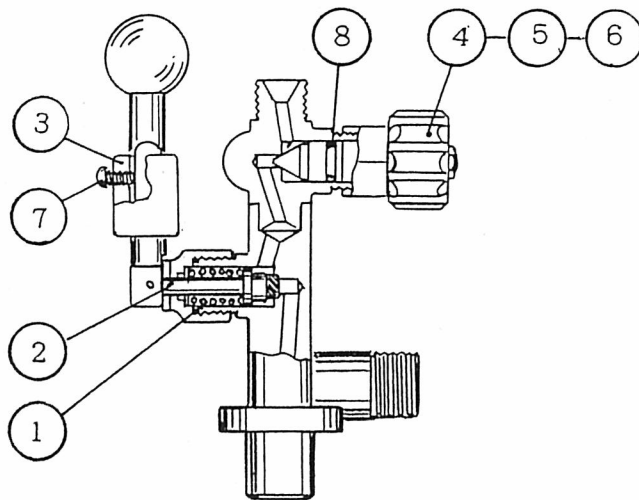
- 1) 原則として1日1回始業時に点検してください。
- 2) バルブの閉止（出流れの有無）の良否を石けん水で確認する。
- 3) バルブ部品の組み付け部、ホース接続部のガス漏れの有無を石けん水で確認する。
- 4) 漏れがあった場合は増締めする。漏れの状態によっては部品の交換、もしくは修理依頼をする。

6. 修理

⚠ 注意 下記の故障が確認された場合は、直ちに当社または当社販売店にご連絡ください。

- 1) ガスが出流れる。（バルブが止まらない）
- 2) 流量調整ができない。（バルブの動き不良）
- 3) レバーが動かない。（部品の損傷、動き不良）
- 4) その他不適合箇所のあるもの。

プリセットバルブ (PS)



番号	部 品 名 称	ストック番号
1	スピンドル (組)	80006293
2	スピンドル	80006294
3	ハンドル (組)	80006295
4	J O Xバルブ (組)	80015281
5	P O Xバルブ (組)	80015282
6	F Gバルブ (組)	80015283
7	なべ小ねじ (M3X8)	80006296
8	O リング (KS-5)	80005026